



3/19 令和5年度 卒業式・式辞

亀崎小学校令和五年度の卒業生として巣立つ九十五名の皆さん、卒業おめでとうございます。先程、皆さん一人一人に渡した卒業証書には、六年間の皆さんの努力とともに、これまで温かく見守ってくださったご家族や地域の方々、教え導いてくださった先生方の深い愛情が込められていることを忘れないでください。また、小学校に入学してようやく学校生活にも慣れて、これからもっと頑張ろうという矢先に、新型コロナウイルスの感染拡大によって突然の休校となり、時に困難な時期を過ごすこともありました。今、手にしている卒業証書は、そのような中でも友達と共に乗り越え、頑張ってきた皆さんの強さと優しさの証でもあります。証書を受け取る時の皆さんの凛とした姿は、本当に頼もしく、大変立派でした。(略)

さあ、いよいよ中学生です。大人として一歩ずつ仲間入りしていく時期に入ります。まだ皆さんの人生は始まったばかりですが、巣立ちゆく皆さんへ、私から届けたい思いがあります。それは、「好き」を手放さないでほしいことです。私は好きなものがある、夢中になれるものがある人は、強くてカッコいい、と思います。それにこの好きという気持ちが人を動かし、誰かの心まで震わすことができると信じています。自分から手放さなければ、好きは決して逃げていくことはないです。好きな気持ちをずっと心に灯し続け、前にさえ進んでいけば、いつか必ず好きの先にある「夢」にたどり着くことができるはず。諦めなければ夢は叶えられると信じています。

いよいよ門出の時が近づき、新しい旅が始まろうとしています。亀崎小学校の校訓「正しく・強く・美しく」のもと、六年間過ごしてきた皆さんなら、これから歩む自分の人生をこの校訓のように、正々堂々と、自分に勝つ強さと、他者を思いやる美しい心をもって、前に進んでいけるはずです。人それぞれの歩幅は違えど、前に一歩ずつ踏み出し、新たな挑戦をし続けてくれることを願っています。

最後になりましたが、子どもたちの門出を温かく見守ってくださっている保護者の皆様、本日は、誠にありがとうございます。これまでも亀崎小学校に対する温かく、そして熱いご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

結びになりますが、卒業生全員が自分たちの未来という扉を開き、大きく大きく飛び立っていくことを心から願い、私の式辞とさせていただきます。卒業生の皆さんの新時代の幕開けです。

3/22 令和5年度 修了式・式辞

ABCを大切に!

ただ今は、皆さんに、「修了証」を授与しました。(略) 4月からの1年間、皆さんは、本当に様々なことに頑張って取り組んできました。多くのことを勉強し、仲間と協力し合って、心も体も、随分と成長することができました。今日で、令和5年度は終わりとなります。私は、毎年この時期になると頭をよぎる言葉があります。それは「終わりは始まり」という言葉です。今日で今年度は終わりですが、すでに、4月から始まる次の学年に向けてスタートをしなければなりません。そこで、今からここで、そんな4月からの新しい学年で、ワンランクバージョンアップした人になるために、どんなことをするとよいか、確認をしていきましょう。

まずは、この1年間を振り返りましょう。皆さんは「かめっ子ABC」を大切にできましたか？今年も、1年間、多くのかめっ子が「ABC」を大切にしてお過ごししてくれました。写真をみてください。先日、仮設校舎のトイレを覗いたら、スリッパがきちんとそろっていました。次の人のことを意識してスリッパを整えているかめっ子たちがたくさんいるんだと思い、嬉しい気持ちになりました。「ABCを大切に」できている人は、きっと一人の時も、きちんとできているのです。

もう一つ、振り返りましょう。「自分がされていやなことを人にしない」は、できましたか？多くの人ができていますが、きっと、「自分がされていやなことを人にしない」人は、「自分がされてうれしいことをしている」人だと思います。そこで、4月からワンランクバージョンアップするためには、これができるといいです。一つ目は、「誰も見ていなくてもかめっ子ABCを大切にしよう」二つ目は、「自分がされてうれしいことを人にしよう」この二つを心がけてほしいと思います。もし、できていない人は、4月からスタートするためには、今日から、春休みの間に、心がけることが大切だと思います。どんなことも、「コツコツ」と取り組むこと、毎日続けていくことで、自分の心が変わっていくことと思います。ぜひ、この春休みから、大切にしてください。それから、最後に、2学期の終わりに児童会の子たちが中心となって、亀小の校舎お別れ会をしました。今も旧校舎の解体工事が続いていて、今まで使っていた教室もいよいよ無くなってしまう。「亀崎小学校！今までありがとうございました」と、旧校舎への感謝と思い出を胸にしまいつつ、数年先の完成する「シン・亀崎小学校」に向かって、かめっ子みんながABCを大切に、仲間と力を合わせて、もっともっと立派なかめっ子たちに成長していきましょう。



修了式「児童代表スピーチ」



☆一年三組 伊藤 眞子☆ 「しんけんだった登下校」

一年生になると、とう下校がありました。ようちえんのときは、おかあさんといっしょに、手をつないで歩いていました。さいしょは、おうだんほうどうをあるくときどきしました。こうつうしどういんさんが、「手をあげてわたるんだよ」と、おしえてくれました。わたしも手をあげてがんばっておうだんほうどうをわたろうとおもいました。いまでは、いったりきたりまい日できるようになって、ちょっとあんしんしました。二年生もちゃんと一年生のころのわたりかたをわすれないで、がんばろうとおもいます。



☆二年一組 林 沙良☆ 「なわとび」

わたしが一年間でがんばったことは、なわとびです。どうしてかというと、わたしは一年生のころ、あやとびや交さとびがとべなかったからです。でも、二年生になって、一生けんめいれんしゅうしました。そうしたら、あやとびや交さとびがとべるようになりました。そのことをお母さんにつたえると、「がんばったね」と言ってくれました。お母さんにほめてもらい、とてもうれしかったです。来年も新しいなわとびのわざにちょうせんしたいです。



☆三年一組 中島 尚哉☆ 「なわとび名人に挑戦」

ぼくは、なわとびをがんばりました。二年生の時には二重とびが1回しかとべなかったけれど、なわとび検定で名人になりたいと思ったので、休み時間、おにごっこではなくて、なわとびの練習にはげむようになりました。そして、二重とびが楽々にとべるようになりました。そしてさらに名人をめざして、はやぶさの練習もがんばり、名人になれました。ねばり強くがんばったことで名人になれてとてもうれしかったです。



☆四年一組 服部美来翔☆ 「四年一組だったから」

ぼくはこの一年間、四年一組でよかったと思いました。理由は、先生はおこるとこわいけど明るくてやさしいし、クラスのみんなは個性的でやさしいからです。そんな仲間に囲まれてぼくは好きなゲームや遊び、授業などでたくさん楽しみました。サイコーの時間でした。ほかにも四年一組にはサイコーなところがありました。それは、笑顔で助け合いができることです。仲間想いの『共力』できる良いクラスでとっても良い一年間を過ごすことができました。次は五年生、高学年の仲間入りです。もっと亀小を盛り上げられるように、四年生以上に学年みんなで気合いを入れてがんばります！

☆五年一組 天木 咲良☆ 「代議員の仕事」

私が三学期がんばったことは代議員の仕事です。私は初めての代議員で二学期から続けていても、慣れないことが多い中、先生に色んなことをたのまれました。最初は、集まりや、めあて決めに忘れていて、予定よりおそくなってしまう日が多くありました。しかし、だんだん慣れてきて、他の代議員や学級委員と協力し合い、忘れることが少なくなってきました。そんな時、代議員の子が一週間程度学校を休みました。その子が休んでいる時、めあてを決めないといけなかった日がありました。でも私は、そのことを忘れていてめあてを決めていませんでした。私は、その時、改めて自分が色々と忘れてしまう人間だと気づきました。私はそのことを反省し、五年生が終わるまでに直そうと、日程をメモして毎日、それをチェックしていました。今はもう、忘れることはなくなり、友達からも、先生からも、「仕事がんばっているね」と言ってもらえるようになりました。六年生もがんばりたいです。

